

公立ほこだて未来大学 特別講演会

# 自己言及的鼎談

# 文学と 科学の はざまで

2012年芥川賞受賞  
円城 塔（作家）

Special Talk Session with —

中島 秀之（公立ほこだて未来大学 学長）

中垣 俊之（公立ほこだて未来大学 教授）

6月21日(木) 18:30-20:00

公立ほこだて未来大学 講堂

入場無料

事前申込不要（当日先着順 定員250名）

お問合せ先：事務局企画総務課 TEL 0138-34-6448



## 「自己言及的鼎談：文学と科学のはざままで」

本年度の芥川賞受賞作家、円城塔氏。受賞作品『道化師の蝶』をはじめ、『Self-Reference ENGINE』『これはペンです』など、独特の言葉の美学に貫かれた作品を紡ぎ出してきた。意味の迷宮へと読み手を誘う「円城塔ワールド」の生成メカニズムの謎に、人工知能、複雑系知能学を専門とする2人の研究者が迫る――。



### 円城 塔 (えんじょう とう)

作家。ペンネームは、複雑系の研究者である金子邦彦の書いた短編小説『進物史観』に登場する物語生成プログラムの一つ「円城塔李久」に由来する。北海道札幌市出身。北海道札幌南高等学校を経て、東北大学理学部物理第二学科を卒業し、2000年東京大学大学院総合文化研究科博士課程を修了。2006年『Self-Reference ENGINE』で第7回小松左京賞最終候補。2007年『パリンプセストあるいは重ね書きされた八つの物語』で第50回群像新入文学賞第二次選考通過。同年『オブ・ザ・ベースボール』で第104回文学界新人賞受賞、同作品で第137回芥川賞候補となる。2010年『烏有此譚』で第23回三島由紀夫賞候補、第32回野間文芸新人賞受賞。2011年、『これはペンです』で第145回芥川賞候補。同年、第3回早稲田大学坪内逍遙大賞奨励賞を受賞。2012年『道化師の蝶』で第146回芥川賞受賞。